

バリアフリーまちづくり通信

発行: 東淀川区役所 地域課(企画調整)

令和8年5月号



大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話: 06-4809-9927
←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています

第61回 まちづくり構想部会を開催しました 令和8年5月28日

東淀川区西部地域における各地域での活動状況や大阪市の取組などについて、話し合いました。

地域での 活動報告

啓発地域の未来会議のご報告がありました。

- ◆第1回未来会議では「未来の夢」、第2回では「温故知新」、第3回では「今を考える」をテーマにワークショップを行った。
- ◆5月29日開催予定の第4回では、これまでの総括として、みんなで話し合いながら、まず一つ、何かやれることを考え、PDCAサイクルのP(プラン)に入る種を作りたい。種から計画を立てて実行し、PDCAサイクルを回し、最終的には、行政に対して提示できる「アクション」を打ち出したい。まずはできることを試し、振り返りながら修正していく。
- ◆アイデアの例: ①一泊避難訓練 ②映画鑑賞会 & ナイトピクニック ③コンテスト的なファッションショーを行う「New盆踊り」など

続いて下新庄地域における活動状況のご報告がありました。

- ◆事業活動を網羅した写真と、子ども達へ「もしもしょうってどんなところ?」とアンケートを行った際の意見を、阪急高架化工事の仮囲いに貼り付け、情報発信することを調整中。
- ◆子ども達は、自由に書いており、遊園地とかスケボーパークを作ってほしいという意見もあった。スケボーパークは、良い案であり、高架下に作ってほしい。
- ◆下新庄は静かな町なので、人が集まることを好まない声もある。



情報提供 & 意見交換

もと西淡路小学校活用に係る活用事業者の募集状況の報告と意見交換がありました。

- ◆もと西淡路小学校の事業者募集が始まった。売却ではなく、約50年の定期借地での募集。募集の条件として、地域の防災拠点としての機能確保や地域貢献に資する提案を受け付ける。
- ◆公募に対する意見として、「防災拠点という条件をどのように実現するのか。体育館を残し、投票所や避難所などの利用を確保しながら、民間企業がそれをどう運用するかが課題である」、「教育施設にしてほしいという要望も強く残っている」という意見があった。
- ◆また、下新庄地域の住民の融合については、「最近では若い世代が増え、地域活動協議会の役員もベテランと若手を混ぜた構成となっている。以前は踏切で東西に分かれてライバル意識があったが、それもなくなってきており融合は進んでいる」という意見があった。
- ◆近畿大学 久名誉教授から、「動けることから動く」という話に関連し、生野区南部の整備事業において、まずは100㎡程度の街角広場を作ろうという話から始めた事例が紹介されました。「最初は、「そんなのできるわけない」と言われたが、続けるうちに小さなことから意見を出しあって実現できるという経験が得られた。何十年かかるかわからない大きな話より、みんなで一緒にイベントをやって経験を積んでいけば、その繋がりが大きなことにも繋がっていくのではないか。」とのお話がありました。
- ◆また、川西市でスケートボードパークがオープンした事例では、「要望だけでなく、責任者が明確であればスケートボードパークも実現し得る」と、学校跡地の活用事例では、「地域貢献への思いの強い事業者が、もと西淡路小学校の公募を担えば面白い展開が期待できる」とのお話がありました。